



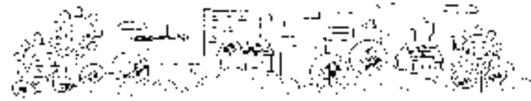
こんにちは  
日本共産党品川区議会議員  
**鈴木ひろ子**です

鈴木ひろ子事務所 中延2-11-7  
日本共産党区議団控え室

3783-8833  
5742-6818

このニュースについてのご意見、  
ご要望をお寄せください。

さっそく**実現!**



# 生理用品の無料配布

## 小中学校のトイレへの配備も実現

先週号の「ひろ子ニュース」で、3月8日の予算議会でも「生理の貧困」について取り上げ、品川区でも生理用品の無料配布に踏み出すべきと求めたこと、さらに教育費で小中学校のトイレに生理用品の配備を求めた事を報告しました。

さっそく実現できました。4月2日、品川区が「防災備蓄用品を活用して、区立学校トイレへの設置や公共施設で配布する」と発表。内容は以下の通りです。

開始時期：4月6日（なくなり次第終了）

対象者：生理用品の入手が困難な家庭及び学生を中心とする。

区内施設・窓口で配布（以下の表）

生理用品：昼用・夜用各1パックで1セットを各施設20セットずつ紙袋に入れ、女性に関わる相談窓口の案内を同封する。

区立学校：生理用品・昼用を個包装にし、容器に入れてトイレに設置。

渡し方：カードを渡すなど声に出さなくても受け取れるよう工夫する。渡す際、個人情報を確認しない。

窓口に設置した専用カードを提示  
・スマートホン画面でHP上の画面を提示

**支援の継続を求めます**

議会で取り上げて1か月で実現でき、本当に良かったと思います。しかし、なくなり次第終了はひどすぎます。ジェンダー平等、人権保障の問題として、支援の継続と拡充を求めていきます。

施設	配布数（セッ	合計セット数
地域センター・支えあいほっとステーション（13か所）	各20	260
生活福祉課（暮し・しごと応援センター）	20	20
子育て応援課	20	20
子ども家庭支援センター	20	20
男女共同参画センター	20	20
保健センター（荏原・大井・品川）	各20	60
社会福祉協議会	20	20
区立学校（46か所）→トイレの個室に置く予定		832（昼用のみ）
福祉部在庫		50
合計		1772パック（昼用・夜用）

**共産党**

**新型コロナ緊急要望第5弾**

「第4波」封じ込めへ

# PCR大規模検査と、くらし営業守る支援を

3月26日、共産党区議団が新型コロナ対策緊急要望第5弾を濱野区長あてに提出。桑村副区長と総務部長、企画部長が対応しました。共産党が緊急要望書で求めたものは以下の通り。

## PCR検査の抜本拡充

医療機関や高齢者・障害者施設、保育園などの定期的検査、高齢者や基礎疾患のある希望者が受けられるように、感染が起きている地域や集団へのモニタリング検査、変異株の確認検査の大幅引き上げなど国に求めること。

## 支援の継続と拡充

品川区独自の家賃支援給付金など直接支援を緊急小口・総合支援資金、住居確保給付金の対象拡大はコロナ収束まで延長を 持続化給付金、家賃支援給付金の第2弾と消費税減税を国に求めよ、生理用品の無料配布、小中学校トイレへの常備を。

## 品川区にはお金はあります。

予算議会で私が取り上げたのは、財源についてです。区の「家賃支援給付金の上乗せ事業」



は、9月の補正予算で組んだ7億4500万円に対して、実際使われたのは1億2000万円。6億余が余りました。原資は国からの新型コロナ地方創生臨時交付金です。さらに第3次分の同交付金7億円が3月にはいり、合わせて13億円。これはコロナ対策に使うべきと求めました。

しかし品川区は、基金に積み増すと言います。これほど区民が追い詰められているときに、コロナ対応の交付金を基金に積み増すなど許されません。困っている区民への支援にこそ使うべきです。引き続き、大規模検査と暮らし・営業守る支援を求め、頑張ります。



**無料**

## 法律・生活相談会

4月20日(火)  
午後5:00~

鈴木ひろ子事務所  
中延2-11-7 3783-8833

弁護士さんが対応します。どんな問題でもお気軽にご相談ください。